よくある質問（FAQ）

見出しを募集要項のものと対応させていますので、募集要項とあわせてご参照ください。

２．助成の対象分野

デザイン振興（地域）・（教育）
Q. 日本国外での活動は助成の対象となりますか。
A. 助成の対象となりません。
Q. グッドデザイン賞を受賞した活動は助成の対象となりますか。グッドデザイン賞受賞の実績は審査において有利になりますか。
A. 助成の対象となりますが、本プログラムでは萌芽的取り組みへの支援を優先したいと考えていますので、その点はご留意ください。また、グッドデザイン賞を受賞したことによる優遇措置はありません。
Q. グッドデザイン賞に応募したが受賞に至らなかった活動は助成の対象となりますか。グッドデザイン賞の審査結果は審査において不利になりますか。
A. 助成の対象となりますが、本プログラムでは萌芽的取り組みへの支援を優先したいと考えていますので、その点はご留意ください。また、本プログラムにおける審査は、募集要項の「６．選考方法、審査基準」に記載のとおり、「課題性」、「独創性」、「有用性」、「実現性」、「将来性」の５つの観点から総合的に行います。

デザイン研究	デザイン振興（地域）・（教育）
Q. ○○（研究・活動の具体的な内容）は助成の対象分野に含まれますか。	
A. 対象分野に含まれるか否かの明確な境界線を提示するのは難しいため、お答えできないことがありますが、募集要項の「１．趣旨」、「２．助成の対象分野」の記載を参考にしてご判断いただきたく思います。当会としては、想定や期待を超える申請を歓迎しますので、申請書においてその研究・活動の重要性や利点などを分かりやすく説明してください。	

3．申請者の資格

デザイン研究
Q. 大学生、大学院生は申請できますか。
A. 申請できません。ただし、共同研究者に含めていただくことはできます。
Q. ポスドクは申請できますか。
A. 日本の大学等を勤務先とする研究者であれば申請できます。常勤・非常勤は問いません。勤務先の在職証明書をご提出ください。
Q. 民間企業の研究者は申請できますか。
A. 申請できます。勤務先の在職証明書をご提出ください。
デザイン振興（地域）・（教育）
Q. 個人でも申請できますか。
A. 申請できます。ウェブサイト（URL）、プロフィール・略歴の申請書への記載、申請書以外の説明資料【任意】を通じて、関連する活動状況などを知らせてください。

4．助成期間、助成金額

デザイン研究	デザイン振興（地域）・（教育）
Q. 助成金額は 50 万円とのことですが、減額して助成が決まることはありますか。	
A. 助成金額の 50 万円は、上限額ではなく定額です。そのため、減額して助成することはありません。	
Q. 研究・活動全体を助成金額 50 万円から支出しなければなりませんか。	
A. いいえ。研究・活動全体の一部も助成対象とします。申請書の「■助成金の使途内訳」において研究・活動全体の予算額全体と、助成金申請額をそれぞれ記載してください。	
Q. 助成金はいつ、どのように支払われますか。	
A. 2027 年 3 月に、ご指定の口座に一括して振込みを行う予定です。	

5．助成対象となる経費

デザイン研究

Q. 助成対象となる旅費は、海外旅費も認められますか。

A. 海外旅費も認めています。

デザイン振興（地域）・（教育）

Q. 家賃や水道光熱費は、助成対象となる経費として認められますか。

A. 認めていません。

デザイン研究 | **デザイン振興（地域）・（教育）**

Q. 申請しようとする研究・活動について他の助成金や補助金の交付を既に受けています。本プログラムにも申請することはできますか。

A. できます。なお、他の助成金や補助金については、申請書の「■申請者の他の助成金等の活用状況」に記載してください。

Q. 申請しようとする研究・活動について他の助成金や補助金の交付の申請を行う予定です。本プログラムにも申請することはできますか。

A. できます。なお、他の助成金や補助金については、申請書の「■申請者の他の助成金等の活用状況」に記載してください。

Q. 申請書の「■助成金の使途内訳」について、費目「その他」の「○○費」を具体的にどう記載すればよいかが分かりません。

A. 募集要項の「5．助成対象となる経費」の表を参考にしてご記入ください。ご不明な点がありましたら、当会までお問い合わせください。

6．選考方法、審査基準

デザイン研究 | **デザイン振興（地域）・（教育）**

Q. 審査において重視される観点はありますか。

A. 募集要項の「6．選考方法、審査基準」に記載のとおり、「課題性」、「独創性」、「有用性」、「実現性」、「将来性」の 5 つの観点から総合的に行います。また、募集要項の「1．趣旨」に本プログラムの目的や本プログラムを通じた期待を記載していますので、ご参照ください。

7．申請方法

デザイン振興（地域）・（教育）
Q. 団体として申請する予定ですが、定款や規約、規程などがありません。どのように対応すればよいですか。
A. 定款や規約、規程などがない場合は、提出する必要はありません。ただし、ウェブサイト（URL）、プロフィール・略歴の申請書への記載、申請書以外の説明資料【任意】を通じて、関連する活動状況などを知らせてください。

デザイン研究	デザイン振興（地域）・（教育）
Q. 一人が複数件を申請することはできますか。	
A. できます。	
Q. 一人が「デザイン研究」と「デザイン振興（地域）・（教育）」の複数のカテゴリーへ申請することはできますか。	
A. 申請者の資格を満たしていれば、できます。	
Q. 申請にあたって費用はかかりますか。	
A. 申請は無料です。	
Q. 申請後に提出書類を差し替える（再提出する）ことはできますか。	
A. 申請期間内であればできます。差し替える（再提出する）旨をメール本文に記載してください。	
Q. 申請書の作成について相談に乗ってもらえますか。	
A. ご不明な点がありましたら、当会までお問い合わせください。なお、「どのように書けば採択されやすくなるか」といったご質問にはお答えしておりませんので、ご了承ください。	

8．助成対象者の遵守事項

デザイン研究	デザイン振興（地域）・（教育）
Q. 中間ヒアリングは対面またはオンラインのどちらで行われますか。	
A. 実施方法の詳細については、助成対象者と相談して決めます。	
Q. 実績報告書はどのように使われますか。	
A. 研究・活動が適切に実施されたかの評価に活用します。また、実績報告書に記載された内容を日本デザイン振興会ウェブサイト等で公表します。	
Q. 知的財産権の都合で、実績報告書に記載した内容のうち公表を差し控えたい内容がありますが、どのようにすればよいですか。	
A. 非公開とする方針です。詳細について相談の上、対応いたします。	

その他

デザイン振興（地域）・（教育）

Q. 本プログラムに採択された活動をグッドデザイン賞に応募する際、審査において有利になりますか。

A. グッドデザイン賞の審査は、同賞の「審査の視点」に基づいて行われます。また、本プログラムに採択されたことによる優遇措置はありません。

デザイン研究

Q. 採択率はどのくらいですか。

A. 2025 年度は、デザイン研究に 7 件、デザイン振興に 44 件の応募があり、デザイン研究 2 件、デザイン振興 2 件を助成対象としました。2026 年度は、デザイン研究に 15 件、デザイン振興に 21 件の応募があり、デザイン研究 2 件、デザイン振興 2 件を助成対象としました。

お問い合わせ先

〒107-6205
東京都港区赤坂 9-7-1　ミッドタウン・タワー5 階
公益財団法人日本デザイン振興会　デザイン助成プログラム担当
e-mail：design-grant@jidp.or.jp